



すぐれた消防人育成の場・県消防学校

防災対策

県民一人ひとりが防災意識を深めるため自主防災組織の組織化を呼びかけるとともに、市町村消防施設の科学化、近代化の促進など防災消防対策の充実強化を図ります。

また、消防職員、団員の資質の向上をはかるため、消防学校における教育内容の充実を図ります。

★自主防災組織の育成……………243万円

火災、風水害などの災害から身を守るためには、県民一人ひとりが防災に対する認識を深め、地域の人々が地域ぐるみで災害に対処することが必要です。このため、住民の自主的な防災活動と防災訓練への積極的な参加を呼びかけます。今年度は、観光温泉地、高速道路、空港周辺地域などを対象に多様な災害発生を想定した訓練を実施します。

★消防力強化促進……………2,984万円

建築物の高層化、複雑化に伴う火災の多様化、自動車事故等の特殊災害の増加に対処するため、化学消防ポンプ自動車、積載車などの消防近代化、防火水そう、消火栓、消防ポンプ格納庫などの消防施設の整備を図ります。

★消防学校……………4,272万円

消防学校は、県下の消防職員、団員の初任

科教育から専科教育まで近代施設のもとで教育訓練し、県内における消防、防災活動に充分対応できる消防人を養成します。

今年度の新設科目として、中級幹部科、ラップ科、副団長科を開講します。

★火山等緊急対策砂防事業……………9,300万円

阿蘇火山活動に伴う積積降灰による土石流災害の発生を未然に防止するため、国庫補助事業により、緊急に必要な砂防設備から推積土砂の除去等を実施します。

交通安全対策

交通安全については、人命尊重の理念を基本とし、市町村、関係機関及び団体等と連携を保ちながら、交通安全運動の推進、交通安全思想の普及に努めるとともに、交通安全施設の整備を図り、人と車の調和のとれた明るい社会づくりの推進を図ります。また、不幸にして交通事故が発生した場合には、関係の方々の相談に応じられるよう、交通事故相談所を開設しております。

★交通安全総合対策費……………966万円

第三次交通安全計画（56～60）に基づく交通安全対策の年度計画の策定及び関係機関、

関係団体との連携強化を図り、交通安全の効果的推進に努めます。

★交通安全思想普及事業……………892万円

全国及び県独自の交通安全運動を事故多発期に行い、全県民に対する交通安全思想の普及徹底に努めるとともに、幼児、母親、老人等いわゆる交通弱者に対しては、「幼児交通安全クラブ」の結成と育成により幼児と母親に、また、講習会等により母親と老人にそれぞれ交通安全についての思想の普及徹底を図ります。

★交通安全施設整備……………30億2,357万円

交通安全を促進するため、関係機関と協議して道路の整備を図るとともに、児童の通学路に歩道を設けるほか歩道の段差改良等を行い、通学時の交通事故防止に努めます。

★交通秩序確立の対策……………214万円

一人歩きがはじまる三歳児の交通事故を防止するため、三歳児検診を利用して保護者指導の徹底を図るとともに、交通事故多発地域を対象として、広報、安全教育、推進大会等、各種の交通安全活動を実施して、地域ぐるみによる事故抑止対策を推進します。また、「熊本県交通安全母の会」の育成等交通秩序の確立に努めます。

★交通事故被害者対策……………865万円

交通事故当事者間の円滑な解決方法等について専門の相談員による指導および助言を行うことにより、被害者の救済に努めます。

☆運転免許試験場の改築

……………5億2,175万円

国民皆免許時代を迎え、老朽、狭隘となりました運転免許試験場の改築を行ない、松橋試験場受験者についても運転免許証の即日交付ができるよう57、58年度で整備をすることにしております。

防犯対策

警察関係につきましては、現下の警察事象に対処するため、警察官15名を増員しますほか、機動力の増強をはじめ装備資器材の拡充をはかるとともに、少年保護活動を推進し、覚せい剤事犯の絶滅を期することにしていきます。

☆警察官15名の増員……………3,501万円

☆捜査用車両など5台の増強……………2,139万円

☆110番指令室の機能拡充……………828万円

★少年保護活動の推進……………954万円

★覚せい剤事犯対策の強化……………325万円

☆情報管理のためのコンピューターの導入……………1,630万円

消費者対策

県民の消費生活の安定及び向上を図るため、物価や消費生活に関する知識、情報の提供、消費者苦情相談の的確迅速な処理あつせ



各地で催される交通安全教室